

将来を見据えた安全で持続可能な
桜並木の景観形成に向けて



kunitachi

国立市都市整備部 道路交通課
生活環境部 環境政策課

矢川通り 国立駅南口駅前広場

1. 4月9日 矢川駅北口駅前広場の倒木の状況
2. 矢川通り | 現況及び今後の対応の方向性
3. 矢川通り | 街路樹診断結果一覧
4. 矢川通り | 現況写真
5. 国立駅南口駅前広場 | 現況及び今後の対応の方向性
6. 国立駅南口駅前広場 | 街路樹診断結果一覧



1. 4月9日 矢川駅北口駅前広場の倒木の状況

■令和8年（2026年）4月9日午前5時半頃に矢川駅北口駅前広場において桜の木の倒木が発生

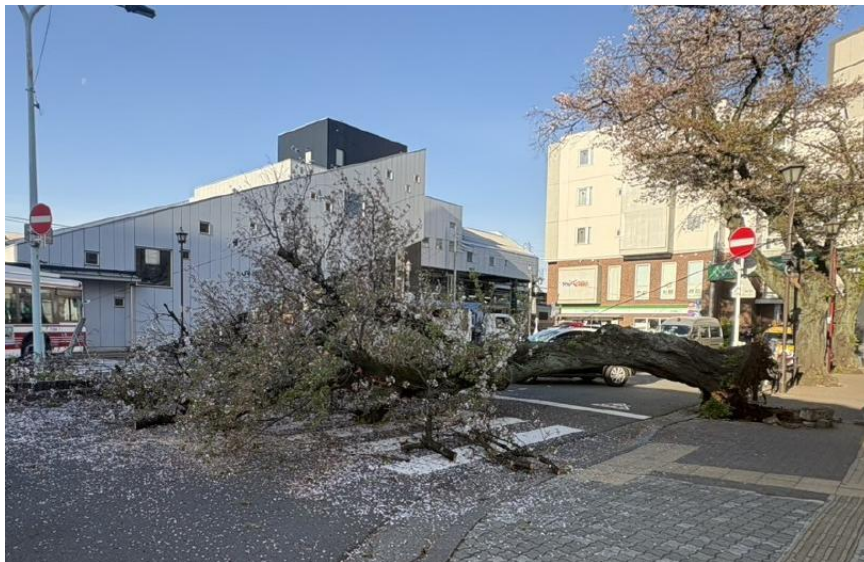
● 街路樹診断結果

■総合判定B2（著しい被害が見られる）

…2022年度の外観診断にて大枝に枝こぶや枯枝が確認され、2023年度のフォローアップ診断及び腐朽診断にて枯枝部分の範囲拡大や幹にやや大きな腐朽空洞が確認されていた。

■考えられる要因：複合的要因によるもの

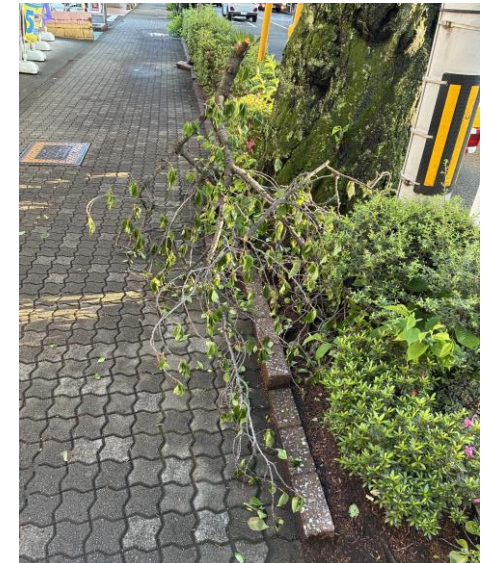
- ・老朽化し根や幹が一部弱くなっていた
- ・風を受けた際自重を支えきれなかった
- ・冬の間雨が降らず乾燥していた
- ・土の中に広く根が張れていなかった など



▲倒木した桜の木（R8.4.9）



▲枝折れ発生状況（R7.6.11）



▲枝折れ発生状況（R8.5.1）

2. 矢川通り | 現況及び今後の対応の方向性

■街路樹診断結果

現存する桜は**61本**あり、そのうち**31本**もの桜が、幹及び根株の腐朽進行や空洞化、枝が伸びすぎて民地や車道にはみ出していること、または枯れて回復が見込めない等の理由で総合判定**C（極めて不健全な状態）**と診断されております。
※全61本診断結果【B1：10本、B2：20本、C：31本】

■対応状況

C判定の桜**31本**のうち**12本**が幹または根株の腐朽空洞率が**50%以上**の値を示しており、台風時に強風などで倒木の危険度が高いため先行して伐採を行います。また、一般社団法人街路樹・都市樹木診断協会へのヒアリング結果より、現地は植栽枿が小さく、添え木等の倒木防止の応急処置も困難な状況となっております。

→**5本**伐採済み（令和8年6月）、**7本**伐採予定（令和8年7月中旬以降）

※B2判定の桜についても、必要に応じて剪定を行っていきます。

■対応の方向性

矢川通りは、桜の根上がりによる歩道部の凹凸や車道の劣化などの理由から、令和9年度以降、道路改修工事を行うための設計業務に取り掛かる予定です。継続的に実施している街路樹診断と併せて、設計業務の中でも桜の樹種の選定について検討していきます。

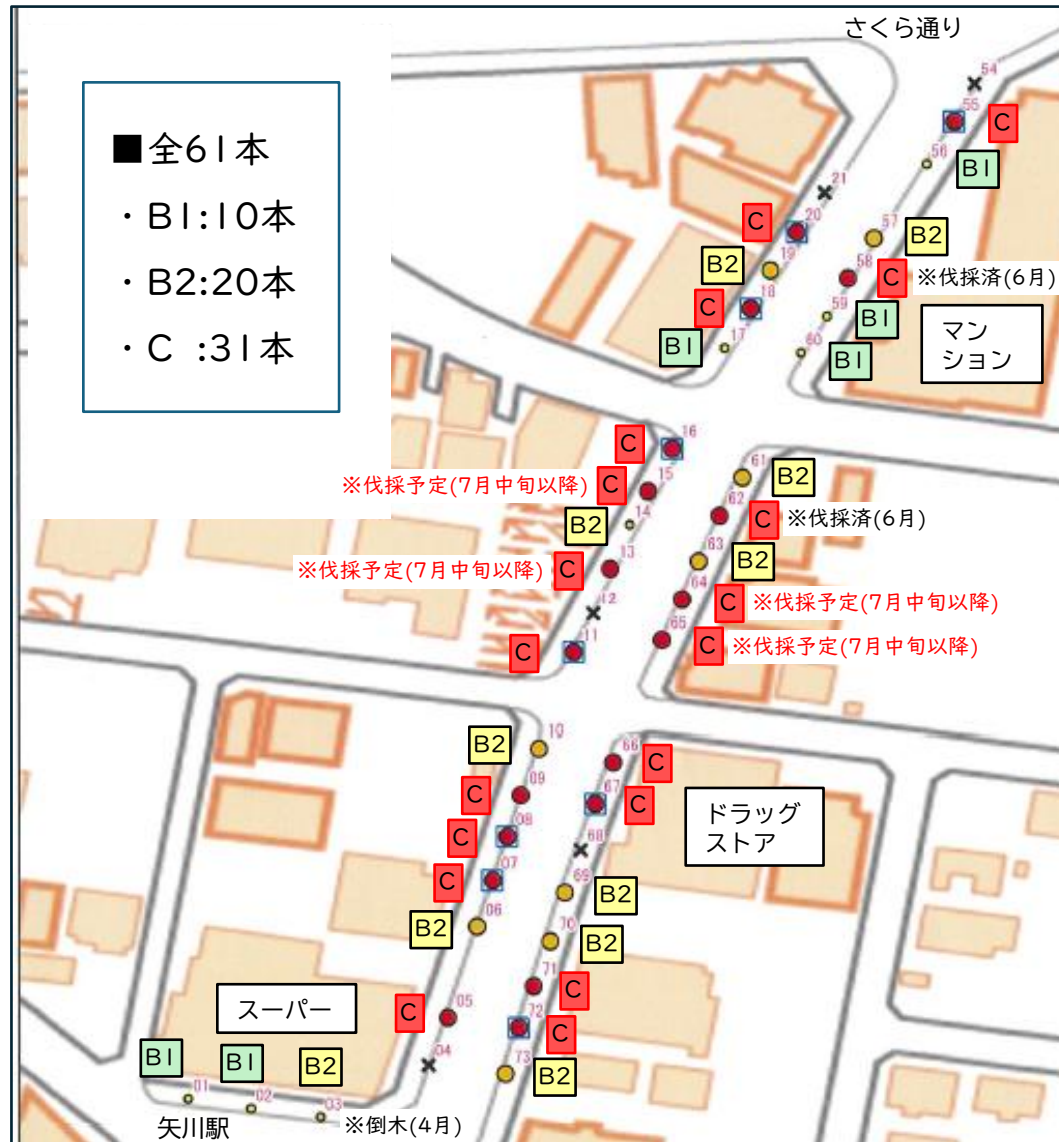


▲桜の腐朽状況



▲整備イメージ（都3・4・10号線）

3. 矢川通り | 街路樹診断結果一覧



4. 矢川通り | 現況写真



▲東側歩道部
→桜の根上がりによる歩道の凹凸
植栽ブロックの破損



▲西側歩道部
→樹形の傾きにより歩行空間が
狭まっている

※道路構造令より、歩道幅員は2m以上、建築限界は2.5m以上



▲西側歩道部
→桜の根上がりによる歩道の凹凸
植栽ブロックの破損

5. 国立駅南口駅前広場 | 現況及び今後の対応の方向性

■整備イメージ

令和7年1月から実施設計業務を進めております。



▲全体鳥瞰イメージパース

■整備スケジュール（予定）

実施設計：令和7年1月～令和8年12月
工事：令和9年下半期～令和11年3月

■街路樹診断結果

現存する桜は17本あり、そのうち16本が総合判定B2（著しい被害が見られる）、1本が総合判定B1（注意すべき被害が見られる）と診断されております。



▲太枝折れ発生状況（R8.5.29）



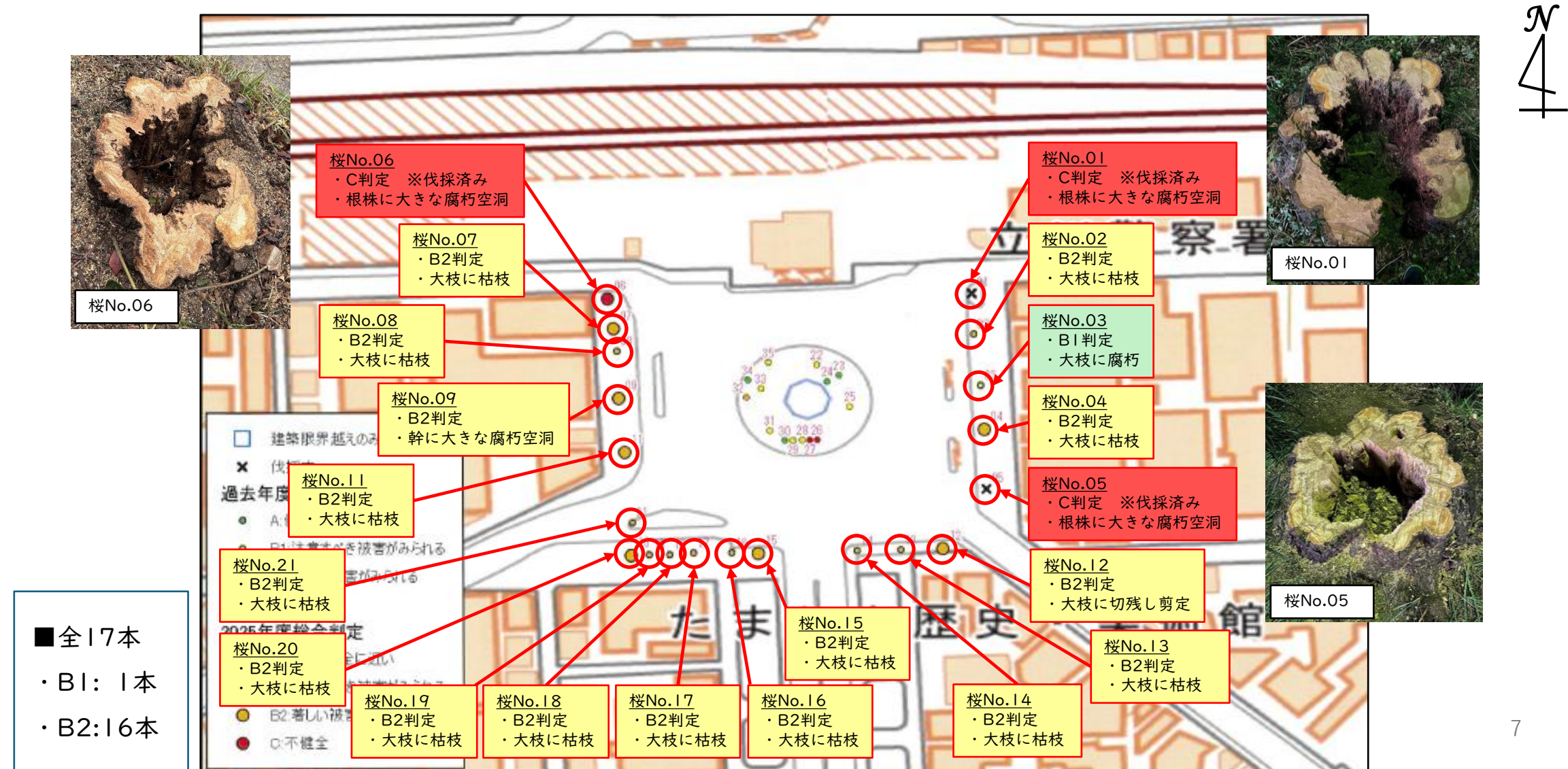
▲腐朽空洞状況（桜No.1）

■対応の方向性

今年度、街路樹診断を行い、更新対象樹木を決定します。令和9年度以降は、これまでの診断結果を踏まえ、計画的に伐採・桜の植樹を検討します。

※本数は、診断結果により確定後、改めてお知らせします。
※添え木等の対応も困難と専門家に確認しています。

6. 国立駅南口駅前広場 | 街路樹診断結果一覧



大学通り 緑地帯

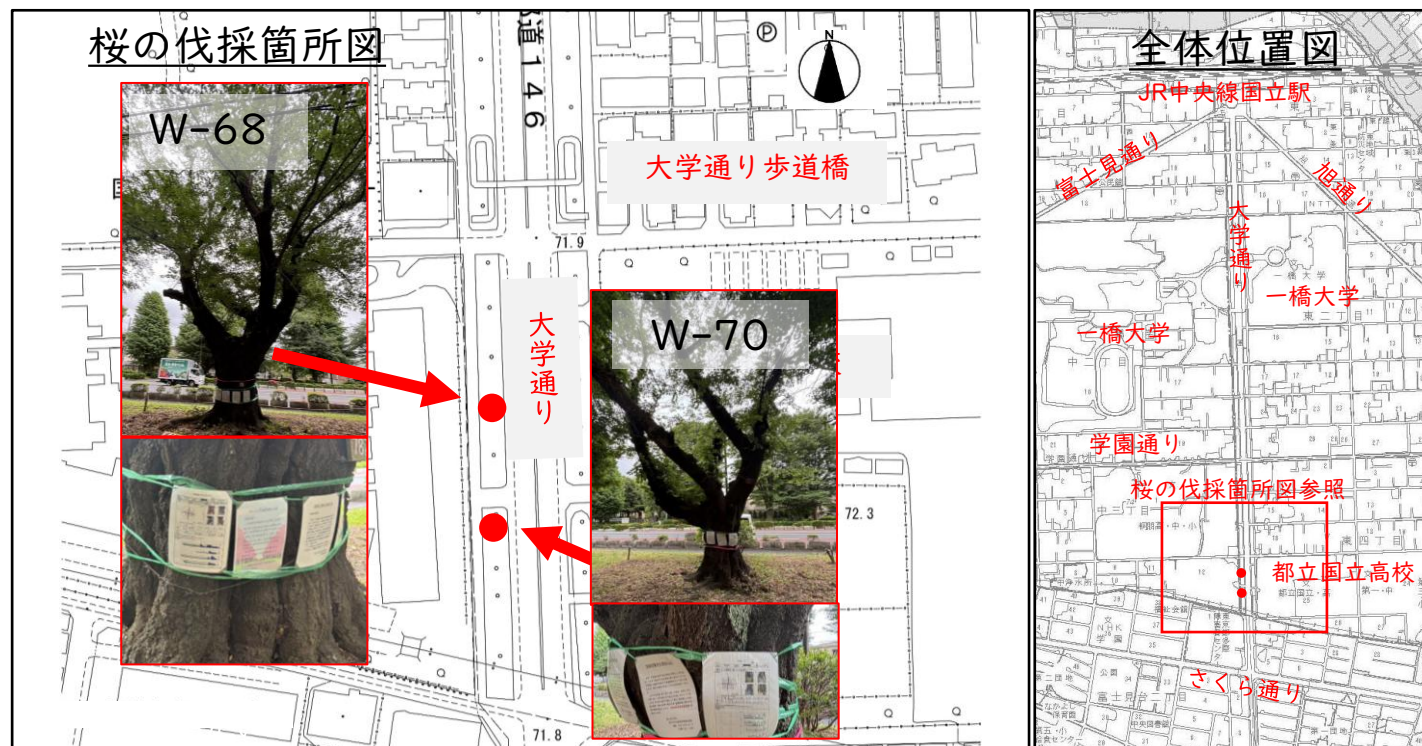
1. 現在までの対応状況
2. 今後の対応予定
3. 植樹計画
4. 樹木の処置について



1. 現在までの対応状況

■ 今回の診断結果による安全性の確保

- 樹木医による診断結果で腐朽空洞率50%以上の個体を対象に、樹形全体のバランス、根の張り方、枯れ枝の状況や周辺への影響度などを踏まえ、伐採対応が必要な桜を市で検討しました。
- 大学通り緑地帯の桜**2本**（W-68及びW-70）については腐朽空洞率が**80.7%、76.2%**であること、樹木の現状や周辺への影響などを踏まえ、緊急的に対応する必要があると判断し、市HP及び現地周知看板による事前告知を実施の上で6月8日に伐採しております。



【伐採後の根元の状況】



1. 現在までの対応状況

■ 現地周知看板①（工事のお知らせ及び伐採対象木のお知らせ）

伐採工事のお知らせ

沿道の皆様へ

近年、大学通り全体で桜の老朽化が進行しております。大学通りの桜は、長年にわたり、春に美しい花を咲かせて私たちを楽しませてくれました。しかし近年、腐朽が進み、樹木医による街路樹診断を行ったところ、この桜は強風時に倒木する危険があると診断されたことから、道路・歩道を利用される皆様の安全確保のため、伐採します。

どうか皆さん、桜にありがたいの気持ちを込めて、最後まで見守ってください。

担当 国立市生活環境部
環境政策課

さくらの木を切るお知らせ

みなさまへ

このみちにあるさくらの木は、ながいあいだ、はるになるときれいな花をさかせて、みんなをたのしませてくれました。

でも、さいきんは木がとしをとって、なかなかぐさってしまい、つよい風がふくとたおれてしまうかもしれないことがわかりました。

みんながあんしんしてみちをつかえるように、このさくらの木をきることにしました。

さみしいですが、これまでの「ありがとう」の気持ちをこめて、さいごまでみてあげてください。

伐採対象木のお知らせ

近年、大学通り全体で桜の老朽化が進行しております。これまで国立市では空洞率が高い樹木についても大学通りの景観を踏まえて経過観察を行ってまいりましたが、倒木の危険があることから伐採対象としました。

このW-68番（旧・西76番）の桜は、長年にわたり春に美しい花を咲かせて私たちを楽しませてくれましたが、幹内部の腐朽が進行しており、樹木医による診断の結果、今後の回復が見込めず、強風時等に倒木する等の危険があることから、**令和8年6月中を目途**に伐採を行います。

問い合わせ先

国立市生活環境部環境政策課

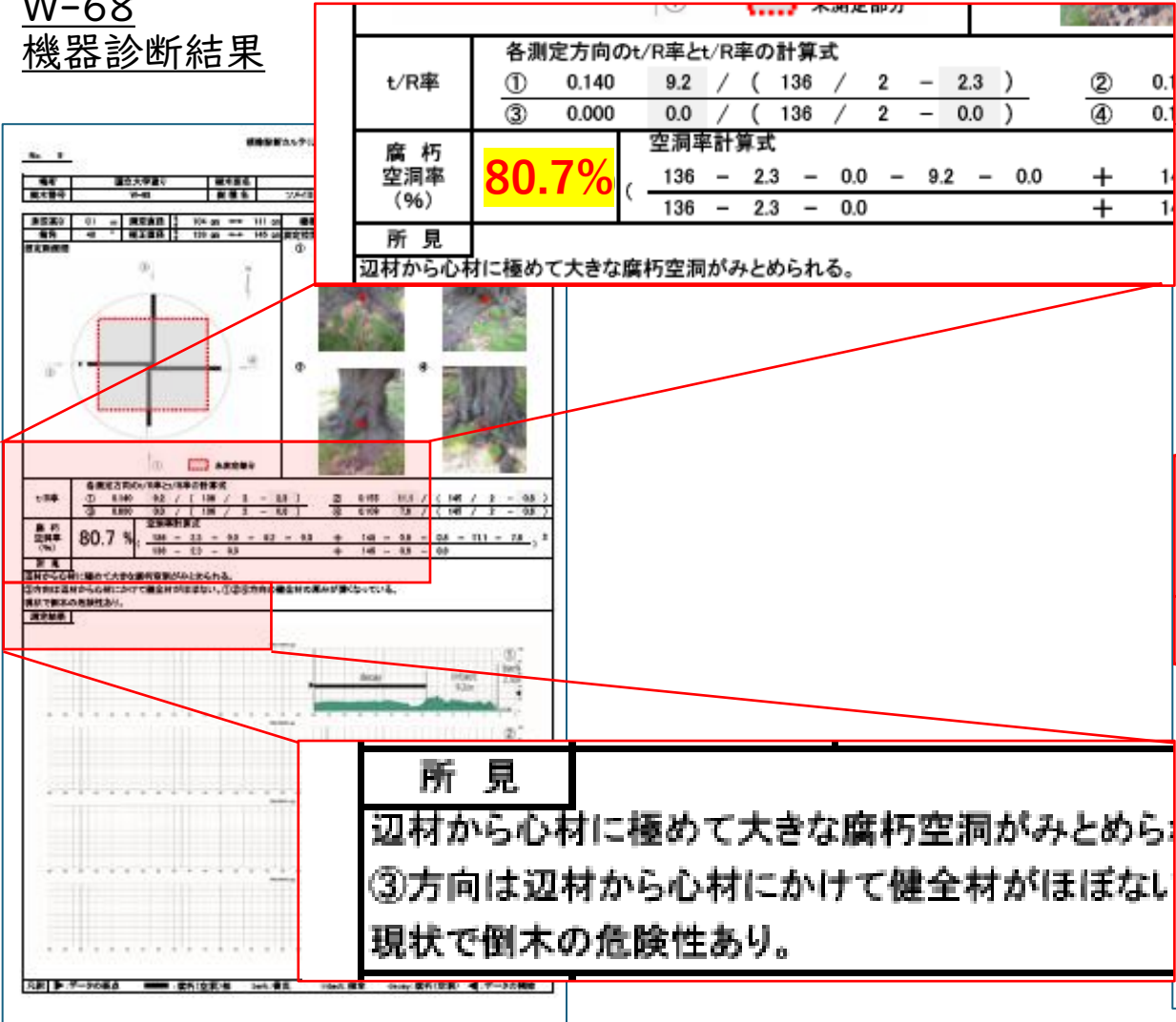
電話 042-576-2111

（内線 137、138）

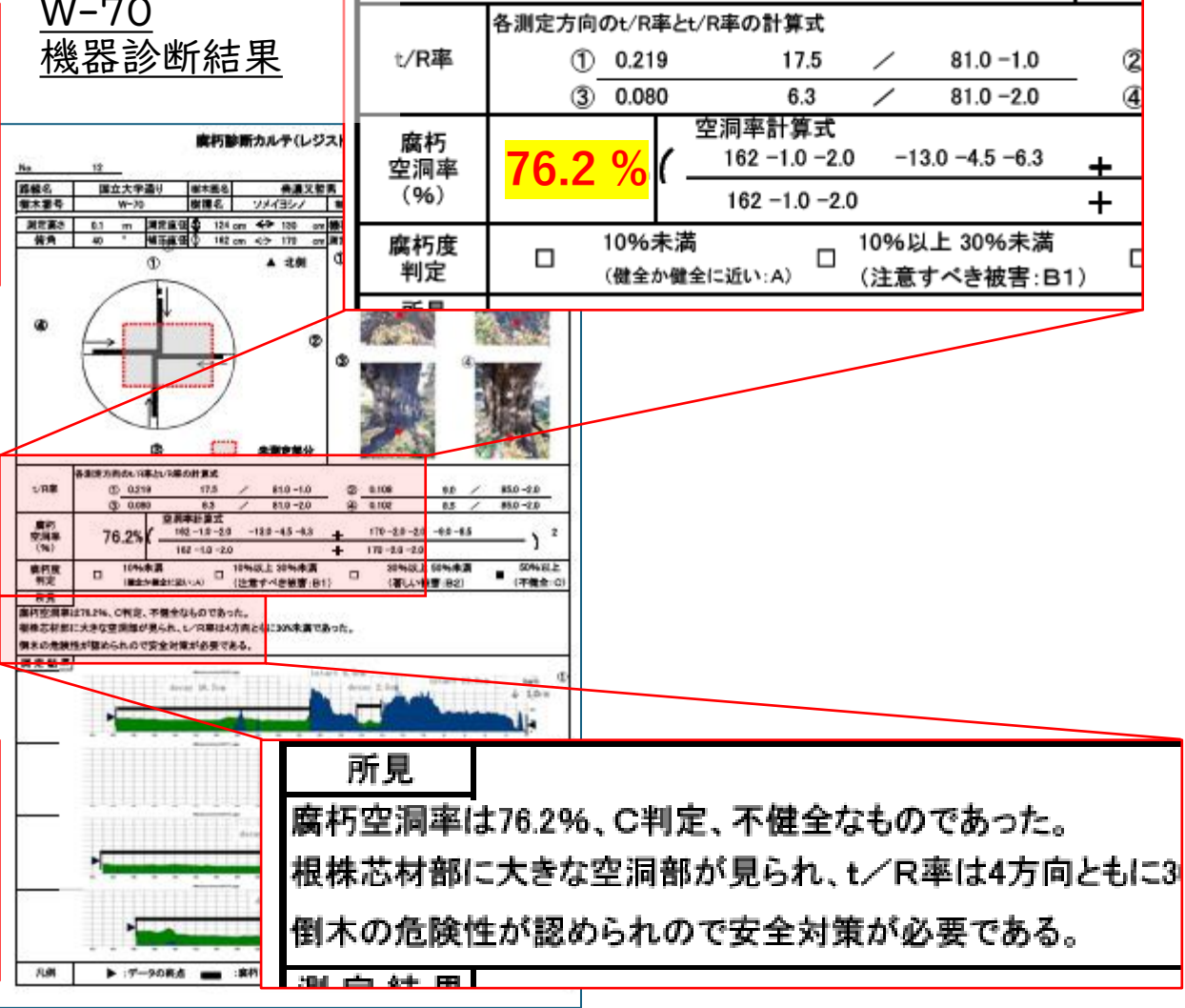
1. 現在までの対応状況

■ 現地周知看板②（機器診断結果）

W-68
機器診断結果



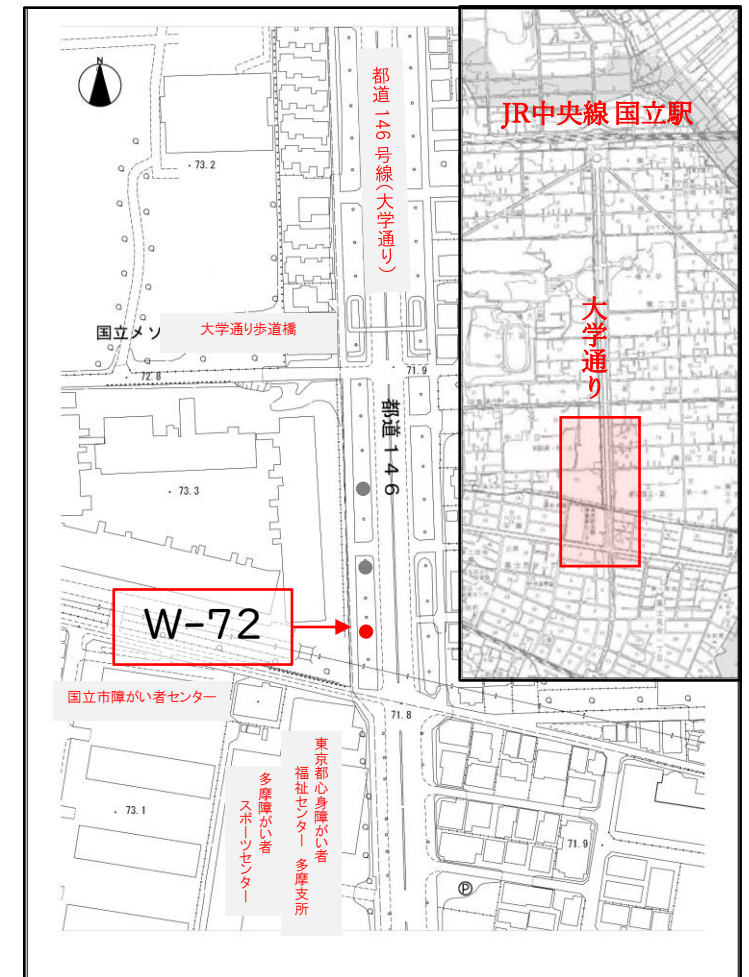
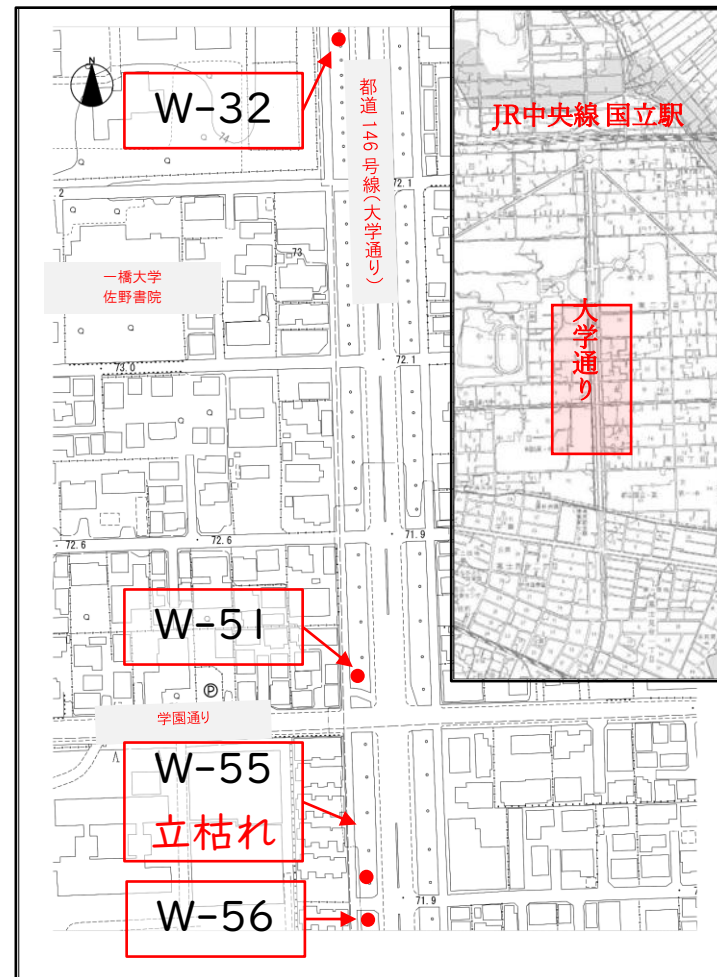
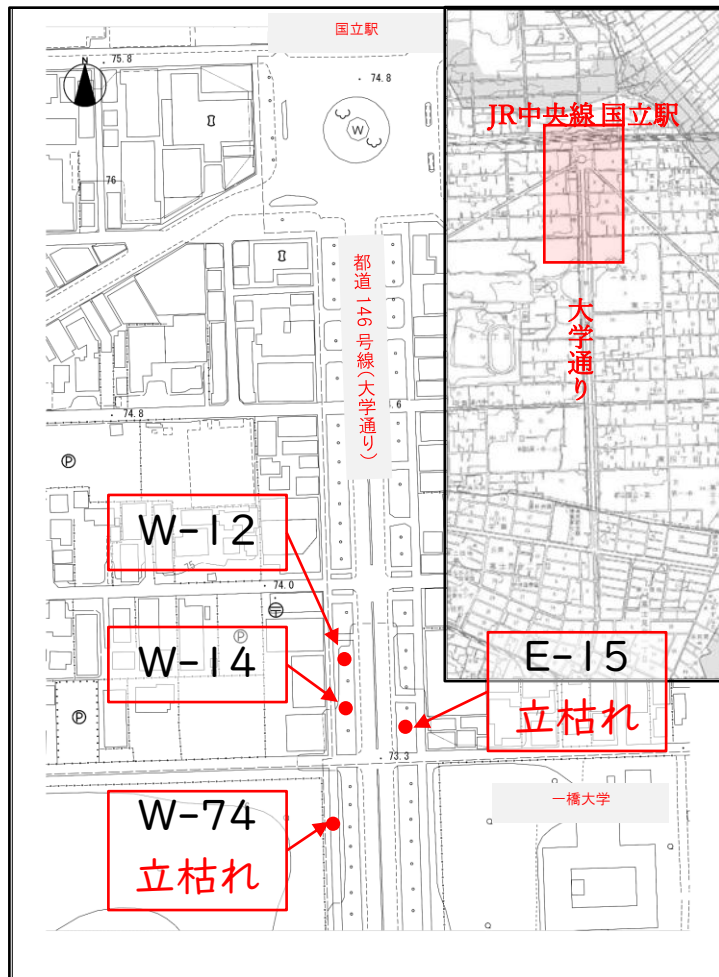
W-70
機器診断結果



2. 今後の対応予定

■ 台風シーズンを前に、腐朽空洞率が高い桜に適切な対応措置を実施

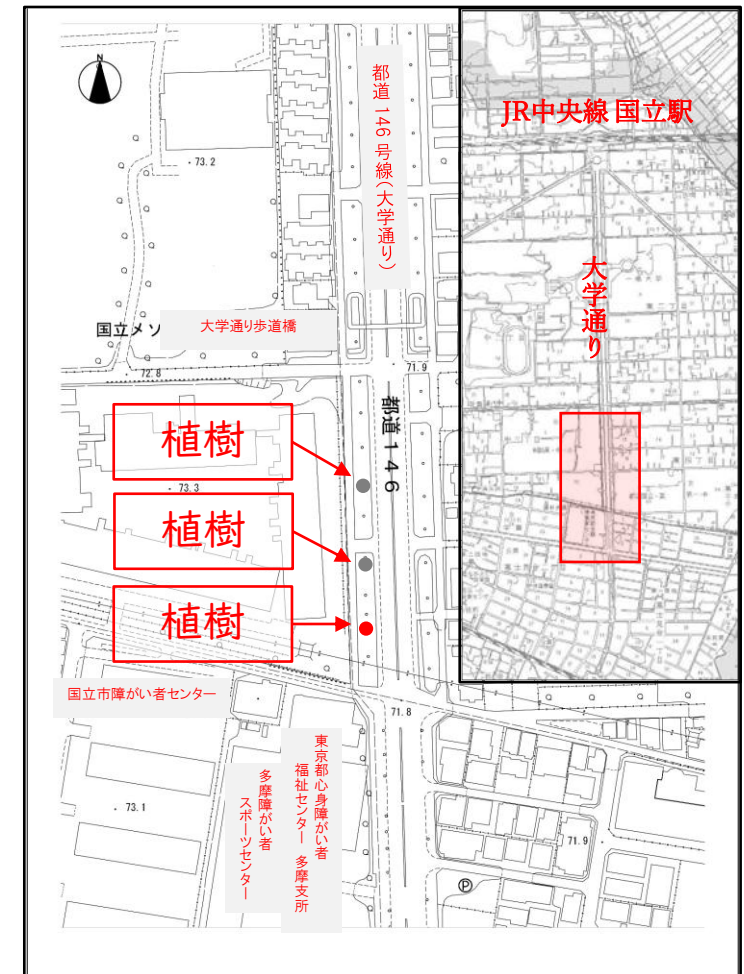
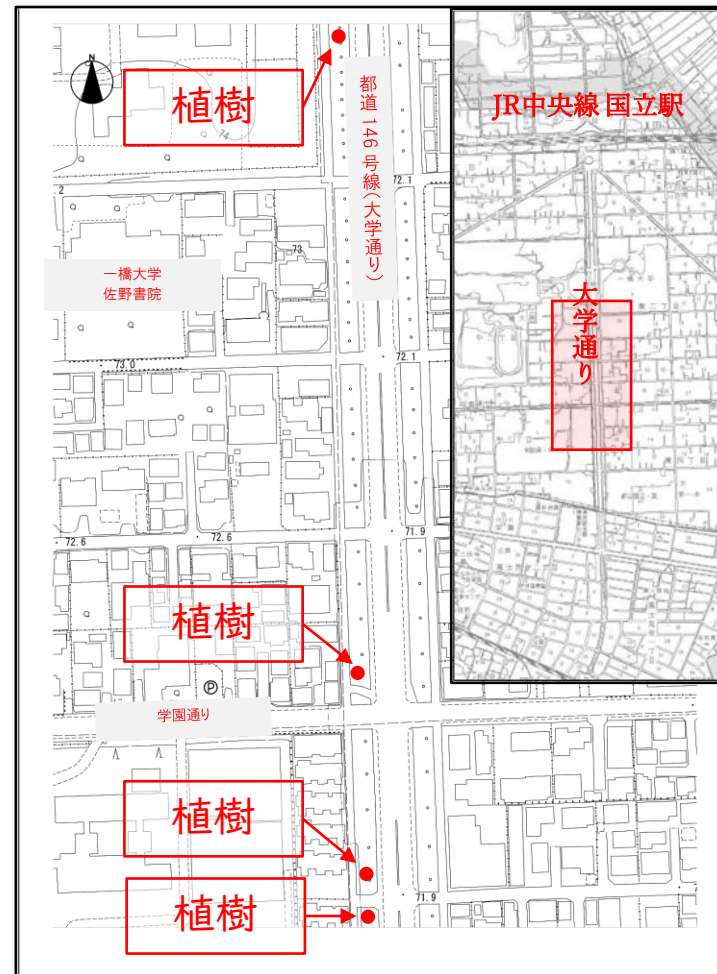
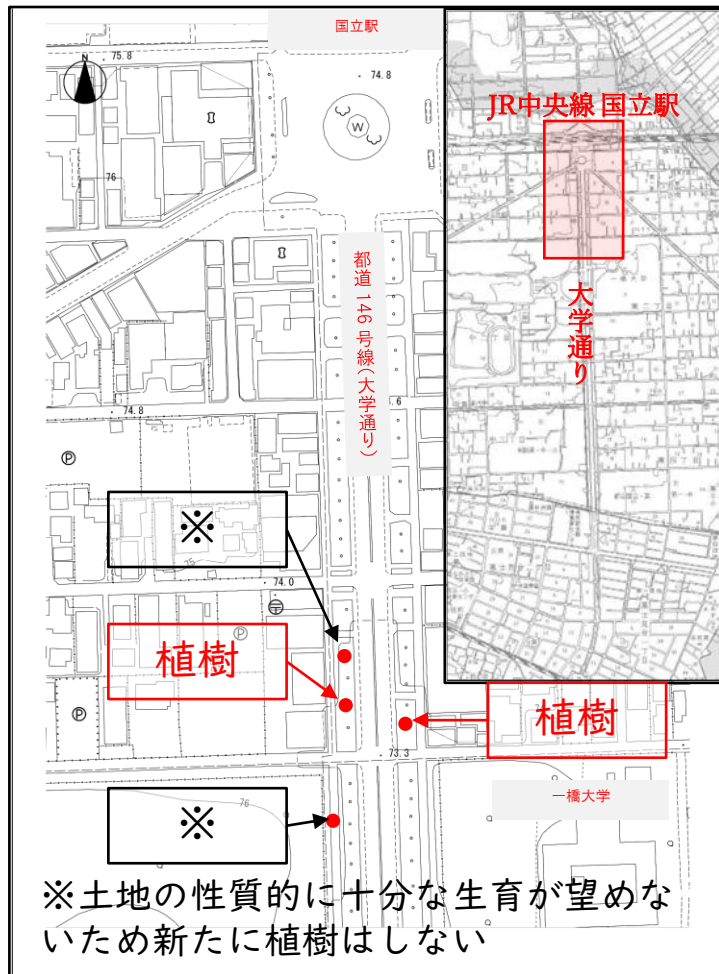
- 腐朽空洞率50%以上の桜は全158本のうち19本ありますが、このうちの6本と立枯れ状態となっている3本を含む原則9本の桜について、樹形・生育状態、腐朽障害の程度、倒木のリスク等を総合的に判断し、伐採を予定しております。ただし、腐朽空洞率50%以上の桜19本のうち、上記6本を除いた13本の桜については伐採ではなく、各個体の状況を踏まえた剪定対応、支柱設置などを検討し、安全確保を図り保全します。



3. 植樹計画

■ 将来の大学通りの姿として、現状と同数程度の桜並木を維持

- やむを得ず伐採対象となった桜の跡地には、基本的に後継樹となる桜の若木を植樹します。
- 周辺前後の樹木との間隔が狭く、日照に問題があるなどの生育環境に大きな支障がない限り植樹を実施し、市民や桜の保全団体からの意見を聴取し、樹種や時期などを決定してまいります。



3. 植樹計画

継続実施

■次世代へ桜の景観をつなぐために市民協働植樹活動を実施

過去

現在

将来



▲桜守、桜の保全団体、教育機関との協働による後継樹（マイヒメ）の植樹

▲植樹された桜

4. 樹木の処置について

継続実施

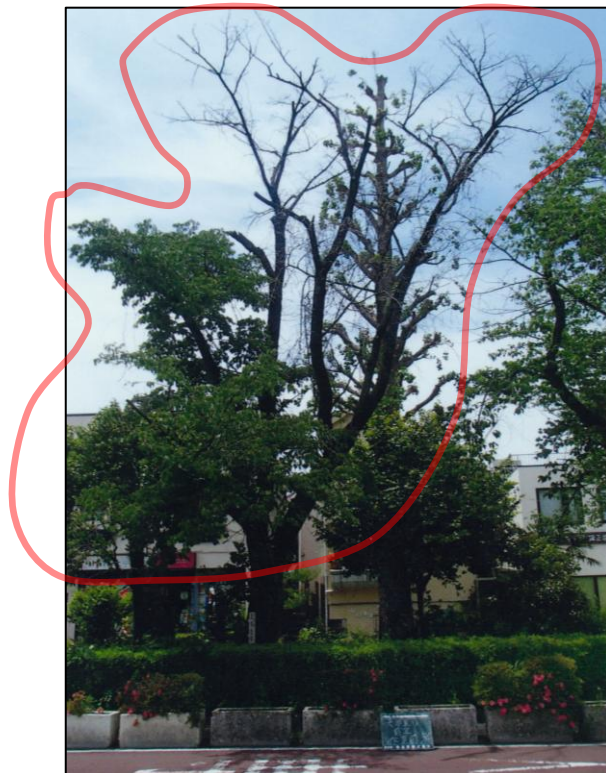
■ 剪定（風圧軽減剪定）

過去

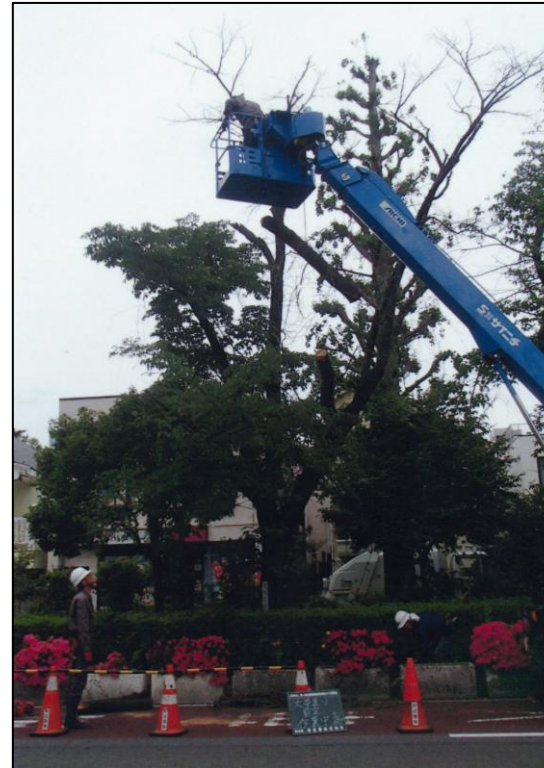
現在

将来

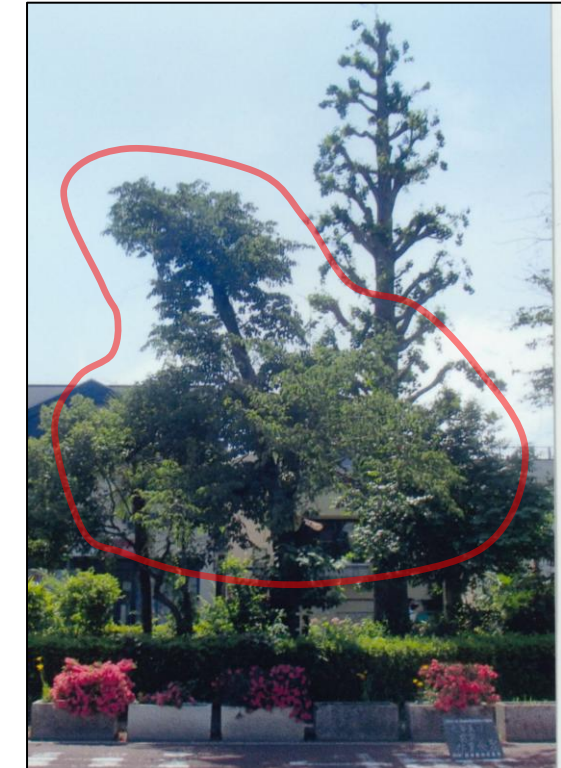
- 根の張り具合に対して樹冠が大きい場合や、樹冠先端部の枝が込み合っている場合などは倒木の危険があります。
- 大学通り緑地帯の桜においては、倒木の危険性を回避するため、剪定による樹冠の縮小又は枝抜き剪定により込み合った枝の間引きを適宜実施しています。



▲ 剪定前の桜



▲ 高所作業車による剪定



▲ 剪定後の桜
大枝を抜き、樹形を縮小した

4. 樹木の処置について

過去実施・今後実施検討

過去

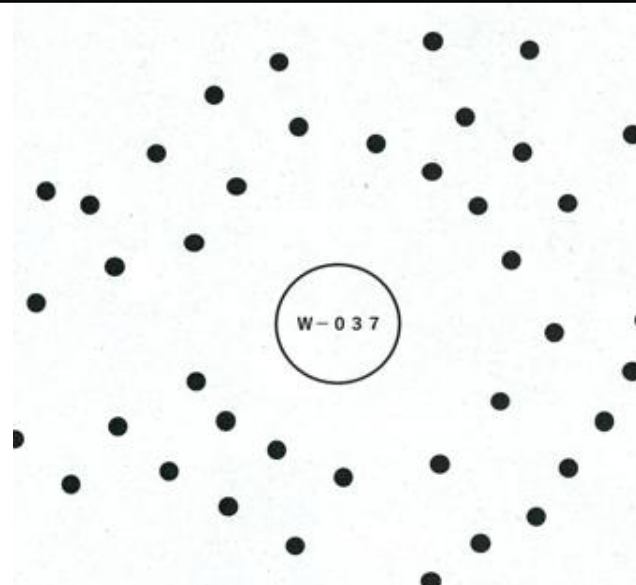
現在

将来

■ 植栽基盤の再生（土壌改良）

- 大学通り緑地帯の桜においては令和2年から樹勢回復が必要な樹木に対して、「縦穴掘削」等による土壌改良を適宜実施しています。
- 乾燥や踏圧などで締め固められたことにより生じた通気性や透水性の障害等を改善するため、堆肥や土壌改良資材を投入しての耕耘、土壌灌注器による液肥や活力促進剤の土壌混入、各種病原菌の蔓延などの改善処置としての土壌の入れ替えなどについて、引き続き取り組みます。

▼ 大学通り緑地帯の桜に施した例（W-37を対象：令和5年度実施）



縦穴の配置



ダブルスコップによる掘削



掘り上げた縦穴（40cm）



土壌改良剤 混合

4. 樹木の処置について

■ 樹体保護（支柱設置）

過去

現在

将来

- 根元の揺らぎや不自然な傾斜などによる樹体の倒木を防止するため、木製支柱やワイヤー等を設置して倒木防止処置を施します。
- 個々の樹木の形状（幹周り、樹高等）や現地の状況（樹間、歩車道との離隔）に応じて、最も効果的となる樹体保護を検討・実施します。



▲ 「櫓（やぐら）型支柱」の例

（出典：令和3年度街路樹診断マニュアル 東京都建設局）

くにたちの桜を
引き継いでいくために

基本的なビジョンとなるような全体的な計画の検討

【対象検討エリア】

国立駅南口駅前広場、大学通り、さくら通り、矢川通り

※市民の皆さまや市内の桜の維持管理のご尽力いただいている団体の皆さまなど、桜に関わりのある方々のご意見を伺いながら検討していくことを想定しています。



(参考) 令和3年度街路樹診断等マニュアル（東京都建設局）による総合判定基準

表Ⅲ-4・1 総合判定基準

総合判定		外観診断判定基準	腐朽空洞率 参考基準値
A	健全か健全に近い	樹勢及び樹形の活力度が1又は2であり、その他の項目に異常がないか被害が軽微で処置の必要のないもの。	10%未満
B 1	注意すべき被害が見られる	樹勢又は樹形の活力度が3の段階であるもの。もしくは、今後活力の低下や腐朽の進行が予想され、その他の項目についても被害が各種見られ注意を要するもの。簡易な処置を必要とするもの。	10%以上 30%未満
B 2	著しい被害が見られる	樹勢又は樹形の活力度が4の段階であるもの。もしくは、幹や根の腐朽が進行し、その他の項目においても被害が見られ、何らかの処置を必要とするもの。	30%以上 50%未満
C	不健全	樹勢又は樹形の活力度が5の段階であるもの。もしくは、幹や根の腐朽が著しく、極めて不健全な状態で回復の見込みがないもの。また、倒木や幹折れの危険があるもの。	50%以上

▲令和3年度街路樹診断等マニュアル（東京都建設局）より抜粋

※国立市における判定について

【道路交通課】

東京都については、総合判定でC判定となった樹木について更新（撤去・植替え）の対象として考えていると思われますが、矢川通りの対応については、対象樹木についてはC判定としているものの、腐朽空洞率が50%以上の樹木について対象としております。

【環境政策課】

大学通りの緑地帯については、市における外観診断及び東京都の街路樹診断マニュアルにおける機器診断結果（腐朽空洞率）を踏まえ、50%以上（C判定）とされる樹木を対象に、樹勢以外の要因を加味し、剪定対象、伐採対象等を検討しています。